

中小企業地域資源  
活用促進法に基づく



**ふるさと名物**  
Furusato Meibutsu

わが市町村の  
ふるさと名物は  
これ!

**先祖から受け継がれた  
農産物（資源）を活用した加工品群**



**鹿児島県喜界町**  
が応援するふるさと名物

◎先祖から受け継がれた農産物  
（資源）を活用した加工品群



ふるさと名物  
Furusato Meibutsu

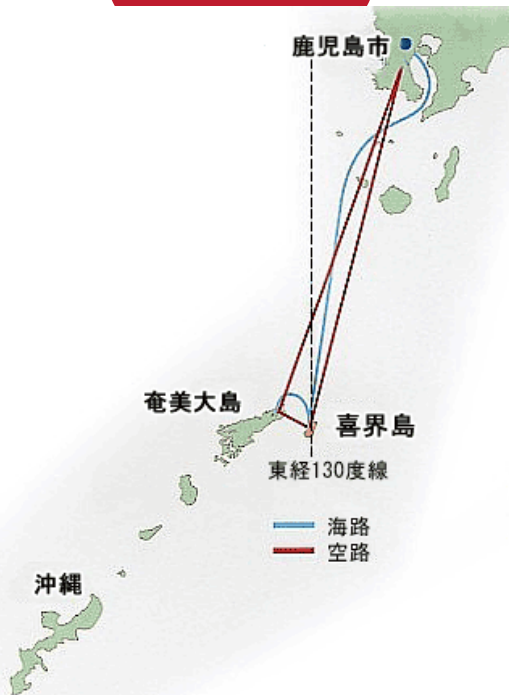
応援宣言

## 鹿児島県喜界町



スギラビーチ

### 地域の プロフィール



喜界島は、奄美大島本島の東北端、北緯28度19分、東経130度00分の太平洋と東シナ海の洋上に浮かぶ、隆起珊瑚礁の平坦（最高地点211.96m）な島です。現在でも年間に2mmずつ隆起し、学術的にも非常に貴重な島といわれています。また、南の貴婦人と呼ばれているオオゴマダラ蝶の生息北限や海を渡る蝶アサギマダラの飛来地としても知られております。

島の中央部では、古代から中世の国内・国外の陶磁器が多数出土した城久遺跡群があり、ロマンと歴史にあふれた島でもあります。

## 1

### 主な地域資源

ごま  
喜界町の柑橘類  
そらまめ

### ◆活用している地域の宝（資源）（白ごま、柑橘類、そらまめ）

喜界島は12万年前に海底のサンゴ礁が隆起してできた島です。地質学上では若い島の土壌はミネラルをたっぷりと含んでおり、そこから栽培される農産物は非常に質が高いと島内外から高い評価を受けています。

また、先祖代々、守り継がれた貴重な在来種の農産物が数多く受け継がれています。

### ◆白ごま

喜界町での胡麻栽培は100年以上前から行われたとされ、国内で数少ない白胡麻の生産地です。喜界島の白胡麻は小粒ではあるが香りに優れ、炒り胡麻、すり胡麻、煉り胡麻の他、胡麻油やドレッシングの原料として重宝されています。国産の多くが喜界町で生産されており、「白胡麻生産日本一」の産地です。



## 2

### 主な地域資源

### ごま 喜界町の柑橘類 そらまめ

#### ◆柑橘類

柑橘類については、温州みかんの交配種とされる九年母（くねんぼ）やフスー（六月ミカン）など、現代ではなかなか見られない種のミカンが数多く残っています。中でも「幻のミカン」と言われ、島の集落名が和名登録された花良治（けらじ）ミカンや独特な香りで和名がないシークー・ムニハー（方言名）をはじめとした多くの柑橘が庭先などで栽培され、本町だけでなく島外からも喜界島の柑橘類は人気が高い農産物です。



ケラジ  
花良治みかん



シークー・ムニハー



六月みかん(フスー)

#### ◆そらまめ

そらまめについては昔から島で食され、一般的に市場流通しているそらまめよりも小粒で味は濃く、昔から醤油や味噌などの保存食や穀物として重宝されてきました。



そら豆

## 1

### ふるさと名物

## 「先祖から受け継がれた 農産物（白ごま、柑橘類、そらまめ）の加工品群」

本町では先祖から受け継がれた地域の宝である白胡麻、柑橘類、そら豆を活用した加工品群の開発・販路開拓を応援し、全国へ向け喜界島の魅力を発信することで、地域のブランド化を図ります。そして、この豊かな自然に恵まれた郷土をさらに躍進させ「きらりと輝くいいしま」を目指して、積極的な町勢の発展を実現します。

### ◆白ごまの加工品群



ごまの風味と黒糖の甘さが絶妙なごま菓子やごま本来の香味を活かしたスリごま、煎りごま、ねりごま、ごま油、ごまドレッシング、ごましゃぶや高校生が商品開発した白ごまいり焼き肉のタレなど多くの白ごま加工品があります。

## 2

ふるさと名物

### ◆柑橘類の加工品群



「幻のミカン」と言われている花良治ミカンをはじめとした柑橘の風味・酸味を活かしたドレッシング類、ぽん酢類、ラー油、菓子類、薬味など多くの加工品があります。

### ◆そらまめの加工品群



そらまめの加工品としては、大豆、小麦不使用グルテン・アレルギーフリーの醤油をはじめ、そらまめの皮を利用した、お茶や粉末にしたそら豆粉など新商品も開発中です。  
また、醤油は「2016かごしまの新商品特産コンクール」で奨励賞受賞

# 1

## 独自の支援策



### 各種補助・支援事業

#### ◆白ごまの生産・品質向上

播種、収穫、選別（唐箕）、管理機の購入金額の1/3以内（上限15万円）助成

#### ◆柑橘類保護および生産向上

柑橘への甚大な被害を及ぼしている害虫（ゴマダラカミキリムシ）のバイオリサカミキリを活用した全柑橘樹一斉設置・防除

営農支援センターにて苗木の増殖・販売

#### ◆そらまめ商品販売促進

平成28年度地域資源・事業化支援アドバイザー事業を活用しての販売促進など

#### ◆喜界町農産物加工販売施設

平成17年から18年度の2ヶ年で整備され、農産物の加工者がいつでも利用できる拠点さらには新加工商品の開発施設として活用されています。



ごま選別機(唐箕)



柑橘樹へのバイオリサカミキリ設置



喜界町農産物加工販売施設

## 1

### 遺跡



城久遺跡群出土カムイヤキ



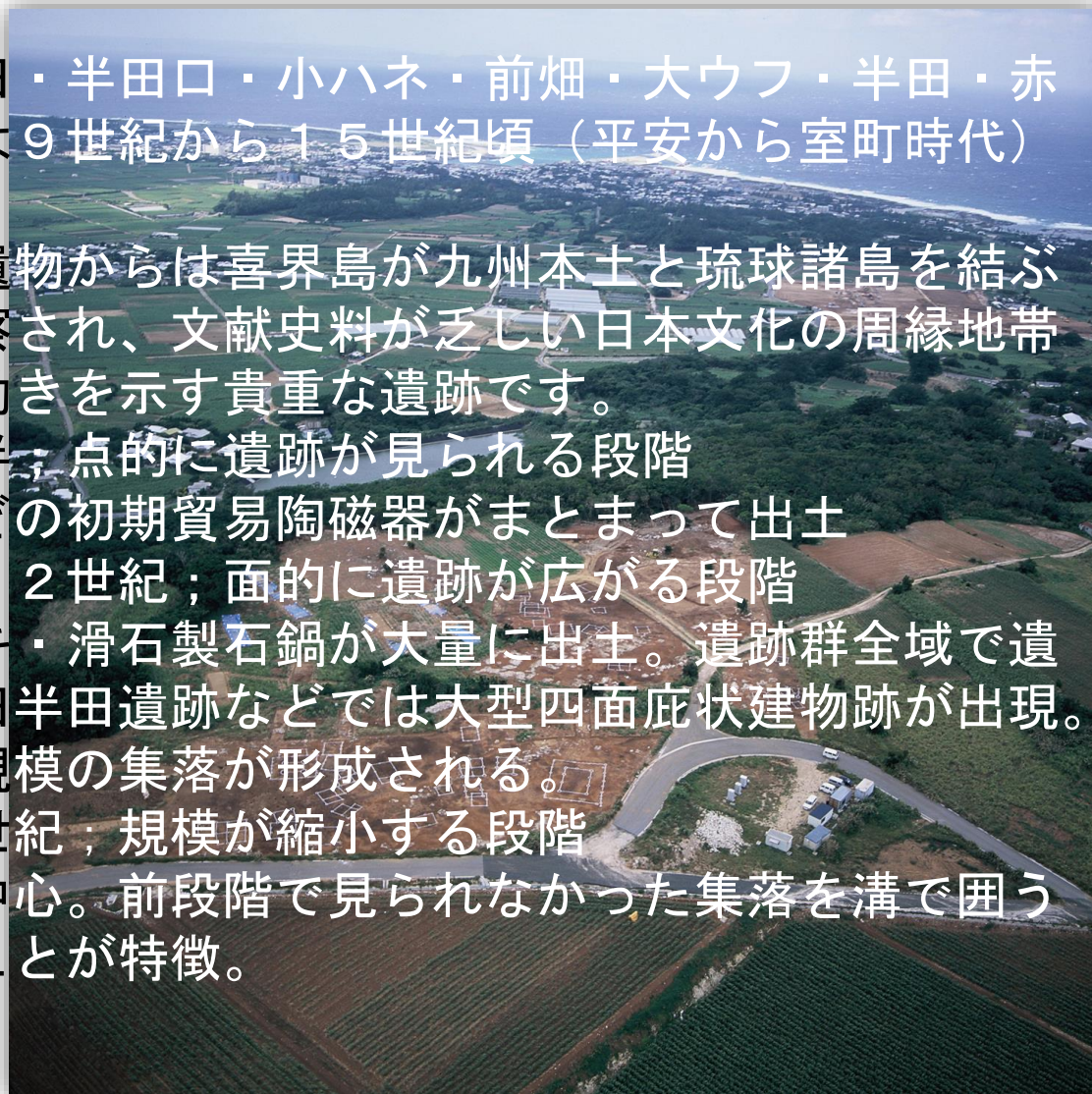
城久遺跡群出土白磁

### ◆城久遺跡群

山田中西・山田半田・半田口・小ハネ・前畑・大ウフ・半田・赤連の総称で、時代は9世紀から15世紀頃（平安から室町時代）です。

これら出土遺構・遺物からは喜界島が九州本土と琉球諸島を結ぶ要所であったと推察され、文献史料が乏しい日本文化の周縁地帯での交易・交流の動きを示す貴重な遺跡です。

- ① 9～11世紀前半；点的に遺跡が見られる段階  
越州窯系青磁などの初期貿易陶磁器がまとまって出土
- ② 11世紀後半～12世紀；面的に遺跡が広がる段階  
白磁・カムイヤキ・滑石製石鍋が大量に出土。遺跡群全域で遺構が展開し、山田半田遺跡などでは大型四面庇状建物跡が出現。奄美群島で最大規模の集落が形成される。
- ③ 13世紀～15世紀；規模が縮小する段階  
龍泉窯系青磁が中心。前段階で見られなかった集落を溝で囲う構造がみられることが特徴。





## 2

### ◆オオゴマダラ

#### 自然

オオゴマダラ蝶は、マダラチョウ科で、羽には白地に黒のマダラ模様、羽を広げると15センチメートルもある大型の美しい蝶で優雅に舞う姿から「南の島の貴婦人」とも呼ばれている。

食草のホウライカガミ（キョウチクトウ科）とともに喜界島が北限とされています。

※町は〈オオゴマダラ保護条例〉を平成元年3月24日に制定公布



オオゴマダラの成虫と  
黄金に輝く蛹

### ◆アサギマダラ

アサギマダラは秋に日本列島を南下し、春に北上する「海を渡る蝶」として世界的にも珍しい蝶として知られています。

アサギマダラは、喜界島へ数多く飛来し中継地として、愛好家の方々が自分のマーキング蝶や友人のマーキング蝶の再捕獲に来島する方が増えています。



海を渡り飛来した「アサギマダラ」

# 1

ゆるキャラ



## ◆よろこびと

名前：よろこびと（「よろこび+こびと」喜界島のイメージワードから）

出身：喜界島

性別：男の子寄り（妖精なので気にしたことない、とのこと）

年齢：わかんない（でも昔からいたよ、とのこと）

性格：むじゃきで天真爛漫、好奇心旺盛

趣味：さんぽ

長所：島中を駆け巡る高い身体能力

弱点：泳げない

肩書：喜界町よろこ部 きらりとかがやくいい島推進係

### 〈紹介文〉

**ごま粒**のような身体で元気いっぱいのよろこびと。その正体はしまっちゅを幸せな気持ちにさせる幻のこびと。

チャームポイントのサクナー帽子をたなびかせ、**そらまめ**シューズで島中を駆け巡る！

**みかん**ポシェットにはしあわせの種がつまっているとか。

普段はサンゴの石垣に住んでいるけれど、行動範囲は自由気ままに島全体。本人はうまく隠れてるつもりだけど、あっちこっちで見つけられるかもしれないよ。探し始めると、よろこびとだけじゃなく島のいろんないいところも発見できるかも！？